紅糧價錢五吊四百文至五吊… 市共上車三十餘輛 邊車共來七十餘輛 元豆六吊九百至六吊八百

一運紙 一フールスカツプ全 一中判洋紙全 百枚 一半紙野紙 一卷紙 四十枚續 四圓 二圓 二十錢 十四錢

一帳簿 一卓子 一卓子掛 一厨房用戸棚 三十圓以上… 四圓五十錢以上十五圓 六圓以上十二圓 十四圓五十錢以上十圓

一長火鉢 一箱火鉢 一宜德火鉢 一對 八圓以上十一圓五十錢 二圓以上三圓五十錢 六圓以上九圓

Rates of Advertisement 20 cts. per line. Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

料金 一ヶ月以上六ヶ月以內 一行十五仙乃至十仙 一長期連掲減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

滿州日報

○報價 每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白手例 一行五號二十一字起碼登一日者每行二角 每登十日行一角五分 登月者每行每日一角 登長年者價當面議 從減 每張四百文

特別廣告

告示

一本年二月より六月に至れる牛家屯土地貸下料未納者にして七月十五日迄に尚納付せさるものは其土地の貸下を廢除す
明治三十九年六月二十六日
營口軍政官 與倉喜平

公告

電話交換手募集
當局電話交換手を募集す志願の者は(滿十六年以上二十五年迄にして高等小學卒業若しくは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人に限る)志願書に自筆の履歷書を添へ携帶出願すへし
明治三十九年六月
營口軍政署電話局

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

竹島丸 十三日午前 太沽、芝罘、長崎 門司、神戸
横濱丸 十八日出帆 司門神戸行
大連出帆
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行(電話二六番)

大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告

潮州丸 十二日 入港
代理店 ブツシユ兄弟商會 東營口公園地横 遠來洋行(電話二十三番)

瀛船出帆廣告

万成源丸 龍口登州府定期
摩耶山丸 十三日 門司神戸行
中國丸 十二日 門司四日市行
第二乾坤丸 十四日 門司行
松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話(五二七)

横濱正金銀行牛莊支店

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所 横濱 神戸 東京 長崎 大阪 倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 漢口 天津 北京 大連 旅順 奉天 遼陽 芝罘 鐵嶺 安東縣
(電話十番支配人宅)(電話百八番事務室)

一小口當座預金(零碎暫存款) 按年五分一厘一毛 日步一錢四厘
一送金爲換取組先(滙兌) 東京、横濱、大阪、神戸、長崎、上海天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金(放利) 一般財產並に土地建物の管理を引受くると不動產抵當貸附金の委託を引受くると
一附帶ノ業務

軍政署認可
營口西北街第二百三十號 支配人 深水十八 (電話二百十番)

正隆銀行

營業項目
一定期預金(長期存款) 三ケ月 五分 六ケ月 按年五分五厘 一ケ年 六分
一當座預金(暫存款) 按年 四分五厘 日步 一錢二厘三毛

本行受入の旨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の內過爐銀の取引をも開始可致候

●ぬ號勸業貯蓄債券(五圓券)發賣

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋綢子紋綢子絨布手巾花巾洋傘火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至 謹啓
代理人 田中賴之助 謹白
電話(店一八三番 住所五五番)
開設老爺閣街同盛德院內

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船運貨事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼設有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
經理人 焦堯卿 謹白

東永茂

本號在營口創辦油榨生意多年以本營業爲業兼代辦俄滙房壹以及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店業務交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事 孫玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料轉運堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌庶不致誤
本主人敬啓

仁裕號

保險運貨各帶火輪船生意兼賣各樹洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

志岐組

本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組名譽日增其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人 謹白

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許販運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 西義順棧內 東櫃(電話九十五番) 西櫃(電話九十八番)

營口 承文信記書坊

現在西大街粵東會館前阜豐棧內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙士商賜顧者價照批發格外克已不悞
本號主人 謹白

三井

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
電話 第六十六號 第九十一號

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八号)

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹朱斐章郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著敢代爲介紹且保費亦較他公司克已 請公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行 電話 第六十六號 第九十一號

飯塚工程局材料部

營口元神廟前
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種
(電話百三十五番)

志岐組木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光顧請到本棧面議

鐵道遼河 裕和盛運輸局

(電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

丸重轉運行

啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站均設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面議是荷
營口西北街(電話十八號)
既設分局 牛家屯車站(電話四十六號) 遼陽、奉天、昌圖各車站

銃砲火藥 軍刀販賣業

本行蒙官准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也
官許商 營口元神廟街第十號 武田洋行

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉
光顧者請至營口永世街 第五號 門牌便是

青堆子 菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人 謹白

SP 糸平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綿布其他一切織物概行發賣並特約販賣(正日光)皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街元神廟南邊路西 (電話一百九十二號)

營口運輸 同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨留交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請駐本號面議特仰週知
營口南永世街 同濟公司總局
馬蜂窩 同濟公司分局
營守電 同濟公司分局
通江子 同濟公司分局

日本官造紙煙專售告白

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙 朝日(紅旭牌)大和(雲花牌)敷島(蓬島牌)娟嫣(軍旗牌)隆佑來福(雙仙鶴牌)利和(百合花牌)捷利(櫻花牌)斯達(星象牌)哥耳天巴德(蝙蝠牌)等九種及煙絲各樣
東營口西北街(舊代々木公司)
日本官煙營口專賣處

社告

我社の一週年 本紙の大發展

來る二十六日は營口占領第二次記念日にして又我社創立第一週年に當る乃ち本紙は此記臆すべき吉日を機とし我社の大發展を行はんことを期し既に新式印刷機を購入し活字を一新し職工を增加し新聞印刷以外汎く一般印刷物の注文に應ずるの準備を整へ紙面亦從來の六段を改めて七段とし以て其内容を豐富ならしめ漸次總振假名附と爲さん爲め更に記者を增聘して已に其發途に在り創刊以來殆ど醉生夢死せる我紙は今や滿一年にして始めて活躍の時機に到達しぬ因て我社は當日の吉辰を祝すべく特に本紙を十二頁とし記事を精選し趣味を多樣にし以て讀者平生の眷顧に酬ゐんとす其如何なる趣向を以て江湖に見ゆるかは請ふ之を同日の紙上に徵せんことを謹んで豫告す

一、當日の本紙は特に數万枚を增刷し廣く一般に配布するを以て廣告の効能殊に顯著なるを覺ゆ依賴諸君は本月二十日迄に申込まるべし

一、營口占領第二次記念日及び本紙一週年祝賀の詩、歌、俳句等を寄せられんとする諸君は廣告〆切期限と同じく二十日迄に編輯局へ投寄を乞ふ

七月　日　滿洲日報社

遼陽電報

●萩原領事の一行（十日午後六時二十分特派員發）萩原總領事の一行は事務引繼打合せを終へ明日當地出發撫順へ赴かる

●遼陽の軍政撤去 當地は本月限り軍政を撤去し當分領事出張所を置き副領事一人書記生四五人警官二十餘人來任するに決定し堺書記生副領事に榮轉來任する由

●各地の軍政廢止 鐵嶺は本月中昌圖新民府は來月中に何れも軍政を廢止し副領事を置く爲め近日其赴任を見るべしと傳へらる

北京電報

●米國公使忠告（九日發電）駐清米國公使は清國が露清境界に税關を置かざるを不條理なりとし北京政府に忠告せり

京城電報

●韓國皇帝の詔勅（九日發電）韓國皇帝は實職に在る者と雖も公事に非されば宮中に出入せしむべからすと詔勅を發せり

倫敦電報

●クリユウ氏の演說（七日發電）サー、レトワー、クリユウ氏は外交問題に於ける討議に際し述へて曰く日英同盟は非常なる健康を樂み居れり日本は韓國の誘導と開發とには自己の財力を擲ち著大なる勢力と義俠心とを以て之に任せり同盟は以外の者には敢て危惧を懷かしめず相互に確認の感覺を與ふ予は今後永く此情態を持續すへきを信すとコンゴ一自由國に關しては英國は列國と提携して制度を採用するの機會に達進するの準備あり英國がクロンスタツドに到れるは正當なりと述べり

●露國議會と救濟費（上同）露國議會は饑饉救濟費として五百萬留を支出せんとする閣員の提議に反對し五十萬留を協賛し殘餘は歲計の豫算より變更すへしと宣言せり

●佛國の戰艦製造（八日發電）佛國海軍大臣は本年末に於て戰鬪艦六隻の製造に着手し且つ潛水艇の建造には常に率先者たるべきことを公言せり

●前月の英國貿易（上同）六月中の英國の輸入額は四千七百八十九万二千七百〇九磅にして四百卅三万五千三百〇二磅の增加を示せり又輸出額は三千六十三萬九千百八十七磅にして四百六十五萬三千七百磅を增加せり

雜報

●滿洲貿易と日露 關東州の我租借地全部を自由港主義に基き開放し大連を經て租借地內に輸入さるゝ貨物は凡て無税にて通過せしめ滿洲內地に輸入さるゝ貨物に對しては便宜上大連に清國税關を設置せしめ同地に於て海關税を徵收し租借地界に於て更に關税を徵收するの煩を省くことゝなすべしとは屢々報せし處なるがこれと同時に露國々境を越えて陸上より清國に輸入さるゝものは往年締結されたる露清陸上貿易條約より兩國々境の一定地を限りて中立地帶となし同地區內に於て自由貿易を行ふを許しあるも同地區內より更に露清兩國へ搬出さるゝ貨物に對しては双方共その國境に設置する税關に於て一定の輸出税を賦課する定めなれども何分國境地界は交通不便の地にして駱駝又は馬背によりて交易さるゝものなれば滊車輸送の場合に於けるが如くその監督容易ならず從つて脫税のみにて實際は殆ど無税通關に等しきを以て大連及び我租借地を經由して輸入する貨物と露領西伯利より其國境線を越えて清國內地に入るものとの間に不權衡を來し南よりするものは嚴重に關税を徵收せられ北よりするものは多く脫税し我にとりて甚だ不利益の次第なるが元來租借地とは讀んで字の如く他國の領土を借受け居るに過ぎざれば其領國領土が直接に境を交ゆる場合の如く完全にその關係を圓滑ならしむる能はざる事情あれば以上の如き不權衡も下目の處止むを得ざるとなりといふ

●露國歐亞鐵道 烏蘇里鐵道及び東清鐵道は西伯利亞鐵道と連絡し先般來普通旅客及び貨物の爲め急行列車（一週一回）郵便旅客列車（每日）及び貨物列車（每日）を運轉し浦鹽斯德停車場より歐亞各停車場を通じて切符を發賣し而て急行列車の速力は

浦鹽、哈爾賓間	二十六時間
哈爾賓、滿洲里間	二十八時間
滿洲里、イルクツク間	五十四時間
イルクツク、タイガ間	五十八時間
タイガ、チエリヤンピンスク	五十三時間
チエイリヤピンスク、サマラ	五十四時間
サマラ、莫斯科	三十時間

にして浦鹽、莫斯科間急行列車の駛走時間は十二晝夜一十二時間なり又旅客列車は浦鹽より滿洲里迄四晝夜、イルクツク迄八晝夜、タイガ迄十一晝夜、莫斯科迄十八晝夜なりといふ

●各國海軍の人物本位 英國海軍にては日露戰爭の初期にありては軍艦武器の改善に重きを置き時々考究し居たるか半途よりは人材養成に重きを置くの方針を執り只管敎育に熱中し種々の方法を制定して專ら射擊の訓練に力め又米國の海軍にても力を敎育に集中し敎育機關に大改善を施したりといふ要するに人は武器に打勝つとの確言は英米に於て證明せられたるか如し我海軍にても着々敎育上の改善を圖り居る由なれは本年末までには具体的成案を發表さるへき運びなる由

●貯蓄心の增進 國民一般の貯蓄思想は近時大に發達し全國各地の貯金管理所に於ける每月の貯金數は日々增加を見るの一方なるも今如何なる階級に貯蓄關係者最も多きかを見るに第一は農業者にして是れに次くものは學校生徒なるが是等學生は殆ど農學校生徒にして中學生には比較的少數なりと云ふ又其の貯金者の最も少きは船夫にして東京管理所の如きは僅々二十人餘なりと

●西比利鐵道の營業 久しく戰役の爲め軍隊輸送に忙殺せられ普通乘客の運輸營業を中止し居たる西比利鐵道は此程より普通旅客の運輸を開始し每水曜日浦港より一回宛旅客列車を發し居れは長崎、浦港の定期航海船に依り同鐵道に依り歐露に赴くを得といふ

●五月中の外客數 大藏省の調査に係る去る五月中の來遊外客數は清國人千二十一人、英國人三百六十五人、米國人二百五十一人、露西亞人三百九人、其他の外國人百十五人、合計二千五百四十二人にして昨年同月に比し九百四十七人の增加なりと

●露將と官金費消 露國諸新聞はレネンカンプ將軍が日露戰爭中滿洲に於て官金を私消したるを攻擊せりといふ

●領事增員 去月二十七日勅令第百六十八號を以て在外公館職員定員令第一條中總領事、領事、副領事、貿易事務官は通して「三十八人」を「四十三人」に增員せり

●露國軍隊と日本語 露國陸軍にては過般の戰役に日本軍か幾多の露語通譯を有せしに反し露軍に完全なる日語通譯を有せす僅に韓人の複譯に依り其用を辨したりし不便に鑑み今後は軍隊に於て盛に日本語學を奬勵し且つは平時の交通にも裨益する計畫ありとの說あり

●大阪商船浦鹽航路 大阪商船會社にては今回香取咸興の兩船を以て大阪浦港間に月三回の定期航海を開始するに決し咸興丸は既に去る五日大阪出帆浦鹽に向ひたりといふ

●關東州最近人口 最近の調査に依れは關東州現在の人口左の如しといふ

所管	內地人	清國人	外國人	計
本署	三、七一二	三五、七五〇	四	三九、四六六
旅順支署	一、一六一	七八、九一八	三〇	八〇、一〇九
金州支署	一五二	二五五、〇五八	—	二五五、二一〇

即ち總計三十七万四千七百八十五人と爲る尤も本表中の內地人には軍人軍屬其他官衙所屬の人員を算入せすと

●外人の滿洲旅行自由 從來內地人の滿洲旅行者は安奉鐵道を除く他の鐵道による旅行の自由を許可され居るが今般外人にも亦た此を許可することゝなり單に發足地軍政署の許可を得れば自由に旅行し得ることになれりと云ふ

●遼河增水と航運 近來屢々降雨あるより遼河上流一般に增水し爲めに三叉河子附近に於て航通を阻害されたる大小ジヤンクの運航に甚だ圓滿となり下流貨物も漸次着荷を見るに至れりと云ふ

●市況漸く回復 一時甚だ緩漫を極めたる營口市況は別項記載の如く遼河と水の增加に伴ひ貨物の流動漸く順調に傾きたる爲め近來に至り漸次回復の兆を見るに至れりと云ふ

●福島次長の再來營 過日當地より旅順に向ひ出發せられたる福嶋次長の一行は總督府に於ける用向を終へ今十一日午前九時再び來營せられたり

●建築班職工遼陽着 曩に報道する所ありし建築班職工七百名の內百五十名は過日既に遼陽に先着せる由なれば同班に屬する大工事は不日開始せらるゝに至らんかと云ふ

●銷夏錄（三）　鐵城生

東京の文藝界

▲評論會は早稻田の島村抱月の獨り舞台と云つても宜い。氏は今の所では早稻田出身第一の人だ。識見の卓拔と文章の雄麗とは猥りに人の追從を許さない所がある。大學派に上田柳村、戶張竹風、片山孤村あれども此頃は斯うした者か余り活動しない。「太陽」に長谷川天溪あれども創見に乏しく、文章の豪放を以て鳴る大町桂月の「太陽」を退いたのは頗る寂しい感がする、一体に議論が昔の樣に突飛なのが出ない代りに穩健といふ方で甚だ面白くない。何がさて今抱月に張合ふ人が居ないので何だか物足りない、故高山樗牛が居たならば嘸面白い勝負が見られるだらうと漫に昔が恋ばれる。森鷗外が立たばと思はれるが、氏は繁職に居る故か沈默して居る。氏の飜譯文集「水沫集」は久しく絕版中であつたが、亦本月出版された。

▲新躰詩界は近時大に氣運は動いて來たが、之といつた成績は認められない。一般に肝心の思想を疎んじて技巧の方に傾いて來た薄田泣菫は先づ今では第一の樣だ。予にあつては氏の價値は未だ疑問中である。此間氏は「白羊宮」を出した。其外に與謝野鐵幹、蒲原有明、前田林外、岩野泡鳴、小牧暮潮等が居る。上田柳村も飜譯詩集『海潮音』を出してから、新躰詩に筆を染められる樣だ。鷗外も折々作られる樣だ。

▲短歌界では竹柏園主の佐々木信綱が先づ第一だらう。短見者流は平淡だとか熱情がないとかいつて非難するが取るに足らない評だ。平淡とか熱情に乏しいといふのは必しも詩歌に對する非難の標準とはならない。明星派の閨秀與謝野晶子は鬼才誠に有髯男子をして後に瞠若たらしむる者がある。其歌集「舞姬」は中々の評判であつた。先づ此の二人の外に取り立てゝいふ程の者はない。

▲俳句界は正岡子規歿後餘り目醒ましい活動がない。雜誌「ホトヽギス」は却つて言文一致の小說やスケツチ等が幅を利かして居る。

▲文學雜誌では赤門派の「帝國文學」と早稻田派の「早稻田文學」とが盛である。然し前者も何だか光彩が揚がらないし、後者も抱月によつて生命が握られてるに過ぎない。其外與謝野鐵幹の「明星」、上田柳村、馬場孤蝶子幹の下になれる「藝苑」がある。藝苑派には古城、江村、暮潮、長江、白楊、鑑無極、蘆風等の諸氏がゐる。早稻田から「趣味」といふ雜誌が出たが俗受を主として居る樣だ。竹柏園からは「心の華」といふのが出てゐる。「新小說」は相變らず盛にやつて居る。

▲演劇界では今歌舞伎座で市川高麗藏か「勸進帳」、市村羽左衛門が「助六」を出して共に好評を博して居る。殊に高麗藏の辨慶は劇評家からやんやと云はれて居る。柄と云ひ調子と云ひ立派な辨慶だ。團洲歿後此の位な辨慶は見られまい「助六」は花柳界の事を演ずるのは非文明的だといつて非難されて居る。羽左衛門のも演る事は巧妙いが、如何にも柄に乏しい。到底成田屋を偲ばずには居られない。新劇の方では之と云ふ程の事はない。好脚本のないのは演劇界に於ける一大缺陷である。

▲一般に社會の趣味が進んで來た樣だ。文藝の價値も幾分か宛認められて來た樣だ。文藝界の前途は有望である。今や文藝家の奮起勇進すべき秋であらう（完）

●東西南北

英國外相議會に演說して日英同盟に言及し同盟の現狀を說明する極めて穩健妥當今よりして後列國復た二國の間を間する無きに至らん▲露清國境清國税關を設けず露品流入に委す不條理之より甚しきは莫し米使乃ち警告を北京廷に致して之を爭ふ固より自國の爲めに之を言ふと雖も清國にして反省する我亦其餘澤に霑ふを得ん▲露都の宴席に於て豪語自ら壯にせるレンチンカムプ官金私消を以て論せらるギヤフンと言ひしや否や▲關東州在住民計三十七萬を以て算せらる即ち露領沿海州一圓の人口に匹敵す露國は事實に於て沿海州大のものを失ひたる也▲西伯利鐵道十二日を幾時間にて亞東より歐西に至るを得該鐵道の利便は即ち然りと雖も露國の手中に存する以上吾人の因て以て利益を得るに至らんと百年河清を竢つよりも尙甚し▲本年東京帝國大學を卒業し新に法學士の班に入れる某氏得點九十五點六分を以て及第し百點を得たるもの三科目あり博士の論文と雖も及ばざるありと教授舌を卷く願くば切に加餐せんことを▲蔚山沖にて重量四十五貫目頭の大さ四斗樽大の大蛸を捕獲せりと日本海戰により珍無類の御馳走を頂戴したれば也旅順沖亦必ずや百間餘の大鯨鯢を出さんか▲旅順の軍使として失明中佐として日露戰史の第一頁を飾れる山岡參謀頭者亦其嗅覺を失すと天何ぞ斯勇士に災する▲袋物用材料として蟇の米國に輸出せらるゝ者十四五萬匹に達す京童謳ふて曰く井蛙亦世界的と爲るかと蓋し亦二十世紀文明の餘澤也

日報俳壇　野梅選

課題、集句選　其三

ゝ三千里送り越したる單衣かな　翠海
蠅の聲に追出て行くや庵の客　同
ゝ頭上の蠅追はらふ拂子かな　老兵
ゝ蠅したゝか苦力の寐顏襲ひ鳧　同
西營口は人稀れにして夏の月　同
單衣鬼子の毛脛あらはれぬ　同
○驢馬の聲夜は更けたりな夏の月　省堂
樹影扶疎虎公園のなつの月　同
かしましき露店の數や蠅むれる　同
ゝ蠅糞して尊上の額に印すかな　古江生
◎蠅多き漁村の午の小雨かな　同
○蠅を打つ鄉先生の眼鏡かな　同

▲夏季雜題　期日又句數をかきらす
▲課題　雲の峯　蟬　午睡　七月末日まで本社編輯局俳壇宛に御投寄を乞ふ

關內外鐵道 上 營口發前八、三〇 七、〇〇 山海關發前 七、〇五 下 四、四五 二、〇五
東清鐵道 上 新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五〇 下 溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、五〇
會席 營口警務課
歐米各國最新流行形 電話百
和洋諸雜貨 卸小賣 奉天小南門ノ後 中越洋行

天氣豫報 營口地方 自七月五日午後六時 至六月六日午後六時

雜報

●夏季と腦病(上)

戸山腦病院醫長醫學士森繁吉君述

▲腦病の原因　は云ふまでもなく腦に血液が過多に充滿するに基くものなるが之に二種ありて單に頭部を壓せらるゝが如く感ずるものと然らず全体として疼痛を訴ふるものとあり前者の原因は單に血液が充滿して腦神經を壓迫するに起り後者は其一部に異状ありて局部的に神經を刺戟するに依る而て腦病患者の數

▲夏季に最も多き　は夏季は温度の上昇に随つて体内血液の順環最も盛なるが爲にして之は單に腦病にのみ然るにはあらず体内皆を一様に充血し來るも頭部の神經即ち腦神經は殊に知覺鋭敏なるに因つて其の苦痛を訴ふると最も大なるなり又体質に依りて

▲多血質と貧血質　との二様ありて多血質は血液中の赤血球を主として体を養ふ精分に富み貧血質は之に反して單に赤血球を稀薄ならしむる至めなる白血球にのみ富るにて血液の順環盛となりて腦神經を壓迫する點に於ては二者共に異なきも貧血質の人は往々にして眩暈を感ずることあるは其の原因は主として其の赤血球少き爲め随つて身躰の諸部殊に腦神經細胞の甚しく衰弱し居る爲め前記血液の壓迫に堪ふる抵抗力弱きに依るなり次に腦病の甚しきものは

▲腦充血若くは腦溢血　にて殊に夏季に多く少時間にして死亡し若くは半身不随となるものあり是は平素より不攝生其の他の原因に依りて血管脆弱となり右の血液順環の昂進に對して其の抵抗力即ち緊縮力微弱となり爲めに腦充血におつては血管膨脹して甚しく腦神經を壓迫するに原因し又腦溢血にありては血管破裂して腦神經細胞を破壊するに原因すて前記の

▲半身不随　即ち俗に中氣と云ふは右の血管破裂の場合に其溢出したる血液が未だ多量ならずして一部分に止まり其まゝ一所に固定して腦神經の全部を侵さゞる程度にあるものなり要するに腦病に對する

▲夏季の豫防　は前記の理由に依り勉めて血液の順環を昂進する原因となるべきもの即ち飲酒等を避け一面に於て成るべく腦神經の抵抗力を大ならしむる爲め其使用の度を減じ即ち繁多なる業務を避けて神經の靜穏を計るより外なかるべし之れが爲め身邊の刺戟を避くる目的を以つて

▲避暑旅行　を行ふは最も有利なる豫防法にして之は直接に氣候の凉しきに依つて前記過度の血液順環を避くるの利あると共に又間接に於ては新鮮なる空氣、適當なる運動等に依つて体質を強め随つて腦神經をも鞏固ならしむるの利あり然れども避暑を山間に於てすべきや又は海邊に選むべきやに就ては諸説未だ一定せず其の適否は主として体質並に其の人の趣味如何に依るべし云々

●營口占領紀念祝賀準備

營口占領以來既に二個年を經過し來る二十六日は即ち其第二次紀念日に相當せり顧れば二ケ年前の今日此頃は尚露兵の占有に歸し我軍は一方に於て連戰連勝の大捷を制し破竹の勢を以て北進せりと雖も營口にして略取するに非ずんば大勢未だ何れに歸するを期すべからざりしに二十六日の戰闘に於て始めて露兵を營口より驅逐し全局の作戰上に多大の効果を及ぼしたるのみならず我れの取て代りし結果として今日我商民が自由に渡來して居住し營業し勞働し得るは皆一に我勇武なる軍隊の賜にして二十六日なる占領の一日に負ふと最も多しと謂ふべし左れば在營口の我民たる者官と無く民と無く商と無く工と無く苟も此地に在住する者此光輝ある吉日を記念し祝福すべきは勿論にして我社亦當日を以て聊か祝意を表する微意なると本日社告に掲ぐる所の如くなるが市中にかても寄り〳〵祝賀に關する催しの相談中にて正金三井を初めとして商店の重もなる向々亦其準備に忙殺せられつゝあるもの〻如く就中旅館料理店組合にかては已に家臺三臺を出して市中を練り歩るくべき協議成立し全組合を三區に分ち第一區は粕谷忠兵衛氏(第三樓)之を取締り第二區は齋藤富次郎氏(日本(金城館)之を取締り第三區は三野傳三氏館)之を取締り各自附近の藝妓舞子を集めて昨日より已に下稽古を始めたる由なれば當日の光景は前年に勝りて一層盛大なるべきことと察せらる尚當日の催し等に就きては聞込次第報道を怠らざるべし

●說諭願の續出　近來旅館料理店に寄食せる藝妓酌婦連の樓主を對手取り其筋に說諭を嘆願する者日々數軒の多きに達し係官は爲に忙殺せらるゝ程なりとの事なるが今彼等か說諭願の內容を聞くに其大部分は勘定の行違より双互の爭ひを生じ終には其黑白を其筋に持ち出す者多く次は無頼漢の敎唆に依り自由廢業を企てんが爲め表面樓主の苛酷又は稱々なる口實を小楯に取り表面眞面目らしく裝ひて官憲を瞞着し其目的を達せんとする者等にして其筋にても其都度双方を召喚して訊問すれば互ひに我田引水論を吐き當局官憲にかても其何れが是か非か殆ど判斷に苦しむ事往々あり兎に角斯かゝる些々たる事にまで公務多忙なる官憲の手を煩はすが如き事は實に言語同斷なり少しは双方に愼しみて猥りにお上のお役人を自己の丁稚小使の如く心得箸の倒れたる如き事を直ちに公沙汰に爲す等は充分注意して愼まざるべからず

●營口座の大改良?　兎角評判の揚らざる例の壯俳伊井一座は開演後常に自己の及を以つて倒れ汚名を流したる事も一再ならず爲に社會の同情は全く地に墜落せるが仲間中にても心ある者は大に嘆き只管善後策を講じつゝありたる所今度愈々某所より僞せられぬ本家本元の壯俳名を聘したる由にて昨今贔負筋へ張り子の虎のそれならで頭を下げて只管嘆願して觀客吸収策を講じ本日より一座大車輪にて開演する由品行を愼しみ専心斯道に勉強せば或は人氣の回復も難からざるべきか敢て三省を望む

●七百圓信用手形の拾得　昨日東稅關波止場に於て同關小蒸汽船々長某が住友銀行振出し金七百圓の信用手形を拾ひ直ちに軍政署警務課に屆出たりと心當りの人は至急同課へ申出ずべしとなり

●料理店荒しの惡漢　頃來道路の風說に依れば當地に在留せる某々等(名前は暫く揭載せず)無頼漢の連中は常に各處の料理店に至り婦女を言葉巧みに誤魔化し借金を踏み倒さしめ遼陽或は奉天鐵嶺遠く昌圖邊に賣飛すを以て唯一の職業となし現に二三料理店の如きは其毘に罹り居るもの〻如し果して事實なるや精探の上大に筆誅を加ふる事とせん

●遼陽婦人病院の檢黴に就て　輓近遼陽に於ける料理同業者間に恐慌を惹起しつゝある問題と云ふは遼陽婦人病院の檢黴方が擔當醫官の交任と共に遽かに嚴なる爲め藝妓酌婦の入院するもの多く從て營業上影響を被むること尠少ならずと云ふにあり今其內情を聞くに從前は藝妓酌婦の總員二百五十余名に對し約二十名內外の入院患者の平均を保ち居りしに過日檢黴擔任醫官の交代ありて以來極めて嚴密なる檢黴方を以て落まるゝが故に從前に比し二倍或は三倍の患者を出し現に七十名の入院を睹るに至りと而るに此の七十名は總員の四分强に當り從前の患者數に比し殆ど三倍强の異數を示す即ち患者の増加を來するは斯業者の爲め最も不吉なる現象にして増加する丈け所謂營業力の殺減せらるゝ所以なれば斯業者の苦痛は多大なるべきも素より檢黴なるものは獨り個人衛生のみならず公衆衛生上避け難き一の强行法なるを以て寧嚴なるを歡迎せざるべからずとは言へ其檢黴官の交替に苦しむ點なきにあらず吾人局外漢の敢て容喙する所にわらざるも元擔任醫官當時に於て評の如くに其檢黴方寬なりし故を以て些少の失態を留めざる以上は寬嚴宜しきに從ひ充實なる檢黴を望むこと而り(ろくじやう)

投書かご

▲南永世街西南の道路は去月中修繕せしが目下霖雨のため下水充滿し道路の惡しきこと言語に絶へたりこれは請負人の罪か將た技師の咎か土木係は雨天の時にちと見廻つてもらひたい(希望生)▲大坂生れ女髮結お政事本名吉田まきの現住所御存知の方は鐵嶺西門日清共同公司內竹村まで御通知をして頂けんでしようか御親切の方に願ます(親族の者)▲近頃當〇〇課の〇雇員は賄賂的の運動甚だ歎現に東方面の〇〇修理の內より大枚〇〇〇と云ふ手形を沒収して知らぬ顏の半兵衛さんとはイヤヘヤ大膽な事中には同僚の者大に迷惑して居る由それとも知らず〇先生役人氣取りで商人を叱り賄賂卷揚の手段とは呆れ果てた代物カナ(報告生)▲昨夜三時頃拙が金城館の前を通わして居つたらツイ近塲に男女の組折ちをやつて居つたが随分見苦いものだ(氣見生)▲いじめられ商人に告ぐ御機嫌取りには日本酒の五瓶も持て行くのが第一番だ譲効驗は直ぐだよ(通告生)▲新聞屋さんは惡いお方ですな滿月のおユウと役者の事件を素破抜いたものですからおユウは神經を病みて其日から高枕で臥して居りますよ餘り手嚴しく筆誅なしては可愛相ですよ(株主)

頭陀袋

在留　下婢營業者一同

其方共儀下婢の鑑札を所持し乍ら飯を焚く詮も知らねば洗濯をする法も心得ず常にそのお三どん面に白粉を塗つて大道臼を振廻はすてと人を人とも思はざる不埒の致方也最もお茶を引いたる奴は便所の雜巾がけをさせらるゝてとありと雖も要するに名實更に相伴はざる不法の營業者たり況んや客の醉に乘じて五圓の拾圓のと高い据膳の不味押賣りを爲すてど言語同斷の至りなり爾今一碗五十錢に直下げしてそしてモ少し誤魔走を能くすべし萬一背く者は燒て粉にして尼で飛ばすべきにより此旨屹度心得べきもの也

月日　太白山女人取締局長　腹野立廠

廣告

告示

七月四日第八回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得べし

二、當籤者は七月十五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ賞金受領す可し若し此期限を經過するときは其當籤効力は消滅す

三、當籤金額

一等　銀五十圓　二等　銀拾圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

七月四日第八回鼠拈鬮施行而左開得彩號目自示之後十日即七月十五日以內其得彩者各携原領執照往赴衛生局領銀可也若過期未來領銀時將來其票歸爲癈棄爲此特示

一、頭等　銀五十圓　二等　銀拾圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

第八回捕鼠懸賞抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

二二二　一二一一一　一
一八〇一二六八一〇九〇六八六三一
三四四五九五四二八八八一八一八五
二三五九四九一〇一二二三五一〇　九

二二一一一一一二二　一二　二二
〇三五五八五〇七六八八七　七二
三六七〇〇二六〇四九二四三二四九
一二〇二三三二七七九三八九七二三

二一　一　一二　一一一二一二
七一六〇五三六一五五一一六一三八
七五一一六六三五九一七七八八九九
七四四一二一一八〇五六九二二七〇

一一二二　二一二二二　二一一
九二二一　七五七三一一三二二八
一四八〇二二六五三一三六四〇九一
二〇八三四六七九六一六五五二五五

一　二　二　一一　一一
五五四九七　七八五五三一四　三八
八八七一一九〇六四五一五八八六
五七一五八五四一四六四四三九一二

新築廣告

一　貸家　間口三間奥行四間　八戶

鐵嶺西門外停車場通り商品陳列塲附近西洋風日本建

右は鐵嶺屈指の地にして目下建築中に付本月下旬には落成致候間御希望の御方は至急御來談あれ

明治三十九年七月

營口西北街　裕和盛號

鐵嶺東門外大街　裕和盛支店

鐵嶺支店雜貨部並に鐵道運河運輸部を今般落成仕候間移轉の上は大改革を爲し書需に可應候條御引立の程伏て奉願候

謹告

盛暑之候益御勇健奉慶賀候

扨テ當會社義ハ生藥事ヲ今般左

記ノ通リ發賣開業仕候間何卒

倍舊御引立ノ程奉希上候也

七月五日

營口永世街八一號　第二市塲停車塲前

(電話一七一番)

日華製藥合資會社

社長　山田長

擴張主任　御前正之助

出納主任　中里巳午太

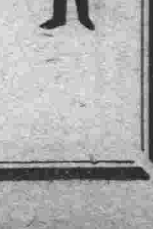
外一同

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半

溫泉塲ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁

眺望絶佳今ヤ新綠滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ

滿韓境上唯一樂園　五龍背温泉



當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ

効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

諸鐵工製作

山船舶機械鐵工　鐵便鐵道附屬鐵工　土木建築用鐵材料　其外鑄物諸般

營口綏定門街　ブツシ商會東

川喜鐵工所

和洋　御料理

會席

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町　日本館　(電話百三十)

各位樣

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依頼者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　瑞穗洋行

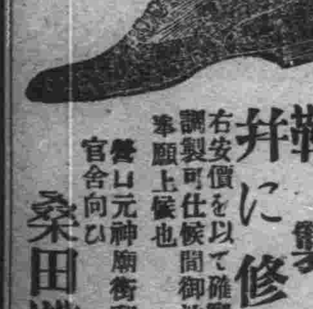
遼陽西門外　芳文館

奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局

大連盤城町　岡野新聞舖

安東縣新市街　天祐公司

新民府　泰東公司



靴製造并に修理

右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局官舍向ひ

桑田靴店

營口三友洋行雜貨部廣告

新荷着

高等化粧品各種 新柄チキダイ
旅行用鞄及靴 氣發油ランプ
新形夏帽子及鳥打帽子
雨合羽 長靴 姿見鏡各種
四季造花
御婦人用小間物

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醤油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣

㊂石

營口西北街
石光洋行

遼陽西門外
石光洋行支店

新荷着

裝飾用簾 洋食用品 肉碎器 秤卅六貫以下種々
手提金庫 コッピー用 附屬品
(電話五號)

窓掛及附屬品 夏帽子各種 戸田式濾水器 宇治新茶
ワイシヤツ及カラー 學校用文房具各種 各種復寫簿

關東公司雜貨部

氷

軍政署認可濟 田庄臺大盛貯氷公司 飲料氷

發賣元
營口元神廟街成功號三階(電話一三四)
田庄臺大盛貯氷公司販賣部

特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松木氷室

登録商標

官准老牌

桂林(けいりん)

神効臭蟲藥粉

各國大博覽會名譽賞牌數個受領

另名驅除諸蟲藥粉 (藥價)每罐洋一角

購置者宜保置於乾燥無濕之處以防濕氣

大日本始祖發售本舖 大阪伏見町堺筋東入(電話東二四六六番) 淸水桂林堂藥房

代售處
營口永世街 回天堂三木大藥房(電話百九十番)
同 遼陽西街 足立大藥房

本堂鑒製神効蟲藥粉專驅除、臭蟲、乞蚤、虱子、紙蟲、蝎等一切毒蟲効驗頗異常眞有卌之妙也凡床榻、書棚、衣架等之處撒此欲除所有毒蟲立皆斃死又有家畜如猫狗鳥類及各種毛皮毛絨等受蟲傷者擦入其散於羽毛中若蟲害死又將此散置入火中焚之蚊蟲蒼蠅等聞之或斃或逃然人吳食之毫無貽害眞居家旅行不可欠之神散也

廣告

高麦酒スペシヤルライト等

スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に醸造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

醸造元 大日本麥酒株式會社

滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部(電話五番)

分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

自製煉瓦 ◉瓦
並に各種石材販賣

營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

醇良日本酒 金露

サッポロビール
大販賣
孔雀印平野水

和洋雜貨 洋酒化粧品 酒類 食料品

千賀洋行 奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店 奉天小西關大街路北

軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類

卸小賣

其外新荷着精々安價販賣

營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店

石材
石灰
大販賣

英治洋行
(營口西北街)
(電話三二)

御披露

小亭義者儀の御引立を蒙り日に增し繁昌て趣き候に付て今般京都より指折の藝妓名及仲居と呼寄一層勉强仕候小亭の特色たる安價と輕快とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尚夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候

月 日

元神廟街 翁亭

淡谷木局

本號開設營口東青堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小檁子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知謹此廣告

東青堆子橋南 淡谷木廠

資本金參拾萬圓
日淸合股

㊀昌

營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局

總局 盛京省昌圖府東街

既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關內外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路梱委各站分局現方在設備中倘蒙還週貨客愛顧者祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特佈沿途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此謹白

喜久洋行

啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在青堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙 中外紳商賜顧者請到本行面議是荷

開設永世街第二小鐵道市場路東

本行主人 謹白
(電話一五二)

土木建築用諸木料
板硝子類
マソイド便利瓦
九州セメント
オルドスコッチウヰスキー

廉價販賣

營口青堆子綏定門外
志岐組
商業部

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○全身魔醉○局處魔醉○
○嶄新器械○無痛手術○
○梅毒○婦人科○外科胃腸病
專門 日本醫院

松岡病院

牛莊松岡病院

內外科眼科婦人科診療

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す

元神廟街第百三十四號

全科醫士 松岡玄雄
(電話一五一番)

宮門抄

十五日 戶部 宗人府 正白旗值日無引 見 良恭假滿請 安 順天府奏京師得雨三寸有餘
召見軍機
十九日奏
上諭江西布政使着沈瑜慶補授欽此
上諭廣東按察使着朱壽鏞補授欽此

奏議

蘇撫陳整頓蘇省稅契辦法摺

奏爲整頓蘇省稅契擬議辦法恭摺仰祈 聖鑒事竊照蘇省田房稅契向多漏匿經前協辦大學士臣剛毅奏明整頓復經前督撫臣飭由司局酌定年限兵燹以前不究自同治三年起至光緒二十四年止除原領印單管業者不問外其餘展轉售賣之產責令現在管業之戶補稅從前白契槩不追求並因此三十餘年中民間置買田產價值叅差不齊從寬核定劃一之價每田一畝作價六兩每地一畝作價四兩如磽薄田地不及六兩四兩者仍按原價投稅光緒二十五年以後則令遵例按照契載買價定限完納會同奏奉 硃批知道了酌定稅契章程甚屬妥善倘有不肖官紳勒索阻撓即著從嚴叅辦欽此欽遵在案旋於光緒三十年因稅契收數仍未起色仿照江寧辦法改用官板契紙其未用官契以前之契則令趕緊補稅仍粘司頒契尾是年稅銀收數即較前數年稍旺現就各屬所頒契尾官契張數按縣查核不特民間置買田房並未盡用官契即舊契之限令六月補稅者數亦無多實因各牧令以稅契多寡無關考成不甚措意以致仍多疲玩查各省分認籌款案內欽奉
上諭仍飭將田房稅契切實整頓則稅契一項本爲各省應理之財且置產之人皆屬有餘之戶揆諸食毛踐土之義宜盡急公奉上之忱現在銅元奉文限鑄餘利甚微而練兵興學警察工藝諸要政無不待款而行值此庫儲支絀之時自應將蘇省稅契循照從前奏案年限及現行官契明定章程分其大綱爲二一曰清匿稅一曰稽現稅大綱中又分目爲二一曰定稅價一曰減稅耗於整頓之中曲加以體恤所有從前幕書丁役浮費一概革除由司分委妥員會同州縣認眞經理不涉書吏之手並不准於正價外有絲毫之費以期款集而民不擾値此時艱財匱無論爲官爲民允宜同報 國恩各盡義務如有勒索阻撓等弊惟有欽遵 諭旨分別從嚴叅辦以示懲儆據江蘇布政使濮子潼署按察使朱之榛擬章會詳請奏前來臣覆核所擬章程尙屬妥善除批司督飭實力整頓如有奉行不力及違抗不遵隨時詳請懲辦外理合會同署理兩江總督臣周馥恭摺具陳並將擬定章程另繕清單恭呈 御覽伏乞
皇太后 皇上聖鑒訓示謹 奏奉 硃批戶部議奏單併發欽此

謹將蘇省現擬實行整頓稅契章程開具簡明清單恭呈
御覽 計開 一清匿稅蘇省匿稅積習由來已久此次清理年限仍照光緒二十五年所定舊章由委員督同州縣調取歷年過戶底冊與歷年稅契底冊按冊查核則從前匿稅之戶一望而知其有轉相售賣者查有現在管業之戶如係白契責令補稅前契概不追求其仍由原戶管業者均須一律補稅其未曾過戶之產責令圖董經保查揭如果圖董經保知情扶同隱匿經官查出並予究辦所有補稅各戶概粘司頒契尾均以三十二年五月起限令六個月補稅再逾限期惟有查照罰辦之例實力奉行 一稽現稅各屬既行用官契須將所領官契立總簿一本挨處登記用印簿分發四鄉凡民間領用官契入姓名月日及所買田房洲地契價責令分頒印簿之人按月報官並令立契以後限令買戶兩月投稅如實交割未清准加展一月違者罰辦且於買賣成交以後先令推收過戶然後立過戶各書務將所過各戶每月抄摺戶冊報州縣不特稅契可以稽查亦可絕管業者戶冊不符之弊如有一契分爲兩契三契以多報少以賣爲典者仍責成圖董經保實力查揭如果得錢扶同隱匿一經查出並予究辦 一定稅價蘇省稅契向多浮費是以二十五年定章每兩稅銀三分折收錢六十一文一切捐費革除三十年改用官契章程正稅三分之外另收規復銀價錢六十文湊抵新案償款此次整頓稅契由州縣設櫃大堂收發皆選派幕友經理不涉書吏之手原爲便民投稅起見所有從前幕書丁役浮費及各項善捐一律革除所領契尾每張照舊章出錢二百四十文官契一張亦照舊章出錢一百四十文此外再敢藉端需索分文准稅戶隨時指稟究辦至契載錢洋本屬不等應仍查照上兩次舊章每錢一千作銀八錢每洋一元作銀七錢以免紛更 一減稅耗例載稅銀本無耗羨明文蘇省各屬徵收田房洲場稅銀向有隨解五七分耗羨由司彙入奏銷造報現在重在旺收正稅應照例只收正銀不收耗銀以示體恤惟此次整頓稅契原爲籌備新政要需各屬於上月所收稅銀下月初旬必須造冊呈報中旬必須解司不准存留挪用如敢故違數少則予記大過數多則立行撤任用昭懲儆
奉 硃批覽欽此

中外要聞

●俄國借瀑布力駛行電車　俄京聖彼得堡集資本三百金磅組織公司稟准政府借用芬蘭省挪魯佛河及浮沙河之瀑布力爲力將來擬從聖彼得堡築軌達斯科（俄舊京）亦用此電力駛行電車云　譯警衛西報

●德使忠告　燕都陽六月十九日電駐京德國代理公使昨十八日照會外部謂近來南清地方米價騰貴人心不穩而秘密結社恐乘之而起暴動茲懇飭各省督撫克注意其豫防及致堂保護等事云　譯東京朝日新聞

●日本取締中國留學生　現今在東京負笈之中國留學生隸籍于諸學校者總過一萬二千餘人研究法律政治教育醫科等學就其中官費學生則上有監督者常注意其學事德育而不甚見風紀之廢弛惟私費學生未曾擇可攻之學科只遊戰勝國之目的而東渡者不少且該學生之父兄皆係中流以上之家業支給學資甚至豐饒故羈於此東都盛地呼吸新空氣之彼學生等徒事外面之裝飾日耽酒色而漫遊於酒館妓樓芝居梨園之樂界私蓄妾婢非但有廢學校之正科除（早稻田）（慶應）（中央）（法政）（宏文學院）（經緯學堂等數校而外有許多之私立學校及私立學塾徒貪授業科極力收容彼等學生使之凌夷教育之前途又有客舍族館租佚留學生之囊橐勸導彼青年子弟逐日陷酒色之界是以囊出文部省發布留學生取締法大爲戒飭然彼等學生之醜聲猶甚播揚於是文部省計定種種調查之上嚴飭本國學生之取締法又與警視廳通氣協力取締清國留學生勉使彼等得進學業之功効因以精查私立學校私立學塾及客舍旅館苟有可以助彼留學生廢弛風紀之情弊者無不嚴行處分云　譯東京日日新聞

●擬開設亞細亞學會　西洋諸國之有關係於東方亞細亞諸國如英法俄德概無不設有研究亞細亞會者英國有勅建亞細亞協會之設俄國亦提撥國帑以資助其研究之經費法德均有研究亞細亞各學會之設而日本近亦有開設亞細亞學會之計劃云大抵歐洲各國人士之研究亞洲其宗旨不外研究其歷史地理等各學科以便爲對付之政策如昨年間英國徠達少佐曁盧淋大尉等一隊由印度入西藏橫斷喜馬拉耶山而回徵其報告喜馬拉耶山一帶北部地形風土之情態皆因其探驗而始得闡奇秘以顯幽微焉所謂維威列斯土峯爲環球第一之高峯亦得其探驗而始爲世界地理學上之定案矣又據昨年二月間楊克巴斯晚特氏在勅建地理協會所演述始得悉西藏南部地方之地形曁喜馬拉耶山北部一帶地方之風土矣如美國拔列土氏曁番珍頓氏亦探驗東部土耳其斯坦地方之動物植物礦物等又如瑞典斯文赫脣氏由波斯抵阿富漢更入印度旋入中部西藏又如德國扶維喜涅爾中尉與地質學家達扶維氏偕同探驗中國西北部地方一帶又如俄國昨年派朱密杜氏探驗北部西伯利亞地方是祇就昨年間觀之歐美各國之研究亞細亞者踪跡不絕可知日本此次開設亞細亞學會亦盖不外研究其歷史地理之關係以講求對付之方畧也俄國初經營滿洲蒙古皆預派探驗家以勘查實地至韓國亦須研究踏查者甚多甲辰以前對付韓國之政策概無不以研究踏查爲其根帶者由此觀之各科專門學家之研究與勘查非徒助考古博物之資亦可爲一國方略之消長借鑒者鉅矣未知日本將如何與西洋諸國相馳騁以發揮學界之面目乎姑誌以待

●日俄議約交涉消息　日俄兩國所派公使均俱到任爲日已久然據確實消息吾國將沿海洲漁業權問題及改評通商條約並未行提議蓋延宕至今實由於兩國政府不能豫備條約各節事宜茲再探悉通商條約改定草稿已經酌擬日前函送駐俄本野公使至沿海洲漁業問題則自川上貿易事務官赴任海參威以來查核各處漁場其餘事宜大約在本月以內俟核辦告竣即可移照本野公使以便與俄政府行確議要之日俄兩國政府開以上二問題交涉之局當在下月中浣以後云

●美查獲盧無黨　美國雪杜爾埠官憲現已發見盧無党之陰謀查該党供係實擬傷斃德皇云

●德警官回漢之警備　德國漢堡埠警官刻已得警告知盧無党員等由雪杜爾埠回埠一事嚴戒一切

●俄不認戕猶太人案　俄政府聲明俄人對於猶太人事項均以爲傳說無據亜將將士與兵員於俾羅斯杜克虐殺猶太人一事均不承認

●法律師擬宜明杜氏案　法國司直官提議前將士杜列比猶一案須不用審判於他處直行宣明

●擬咨裁副都統　聞政務處王大臣議商現當裁汰冗員撙節糜費之際查各省副都統事甚清簡尚多未據奏請裁撤者惟請求政治必須專一事權擬咨各省將軍督撫將副都統查明如有與將軍都統同城之副都統或事較清簡之缺均著仿黑龍江成例一律裁撤

●閩督議處抵銷　署理閩淅總督崇善前因奏補福州府知府之缺未曾先行奏明故奉旨交部議處現經吏部議以降三級留任之處分入奏政府以其所得之處分係公事故雖降三級留任然准其抵銷

●起用陸撫消息　開缺江蘇巡撫陸元鼎近經某大老爲之設法聞政府議欲起用令其署理新撫之信

●太子譽奬工業　日本皇太子爲振興工藝教育起見日前親臨高等工業學堂觀覽并召見總辦及教習且譽奬之

●補授樞密顧問　今日諭旨著大審院長南部甕男君補授樞密院顧問官

●臺灣彩票略章　日本批售臺灣彩票每張價九圓每四萬張獲彩頭等彩五萬圓貳等彩一萬圓以及十二等不等明年批售彩票分售五次又第一次售彩定於今年十二月批售

●俄人處置匪犯之確聞　有客日前由海參威來據云俄人白晝剽奪民財戕斃猶太人并滋生革命風潮爲數不尠現由官憲緝捕已經解押哈爾賓正法處刑者有六百餘名之多云

●籌議整頓鹽務　聞商部各堂憲議商以近來鹽價奇昂難由迭加稅釐所致而鹽質汚濁於衛生大有妨碍擬電咨沿海各省督撫於產鹽之區飭屬參用西法煞煉如果辦有成效不但於衛生有益將來鹽質潔白行銷必暢於國課亦大有裨益云

●電查教堂清冊　日前外務部電致各省督撫飭屬詳查教堂及教士名數清冊按一月造報一次咨送本部以憑查核

雜報

●謀陷人罪　有直隸省二人於本埠久居素皆業博一人既係同鄉乃一黠一愚未識夙蓄何怨前二日會於某處口角決裂各自回家脫衣磅礴誓往格鬥愚者袖匿鐵杖於關帝廟東南一板橋自東北來黠者袒其兩肩飽握雙拳由南向北往一見某甲尋來相距不數十武則止而弗前乃裂眥怒髮隳突叫號手指呼曰今日你我誓不兩立非你死我活拚命不可時有好事諸人見之向前攔阻不容兩人交鬥詎黠者遙見巡街憲兵隱從北來某乃急覓尖甲煉瓦將頭劃破滿額血汚即僵臥於地不起及憲兵近前乃起向僞訴所苦憲兵以爲愚者實毆黠者如此乃將愚者兩頰批俱高腫并將二人帶至卡所將有嚴懲之意而愚者負屈莫伸竟爲慟涕幸遇巡捕長知曲直代其二人緩頰憲兵某君復行寬宥當將二人釋放云

●德艦南遊　前日有德國之郵信船因於沿海一帶游歷形勝藉便進港碇泊於河之東流已載昨報茲悉於上日午前業已起碇出港駛向大連灣游歷云

●招撫鬍匪仍爲馬賊　昨聞北來歸客所云昌圖郡一帶由常備軍紮彼剿捕盜賊鞫實口供即爲正法者無數卽馮麟閣囊統之鬍匪隊因於四外捐刼肆虐被該軍捉獲誅戮者二百餘名現下風聞該匪隊全數爲盜乃於法庫門英守屯等處捐掛而食非常騷擾未悉事果屬實否

料理 前南へ入る
永世街一四一（森病院三軒目）
豫報 昨日の氣溫 最高溫度八十二度六 最低溫度六十七度一

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 料理　第一樓　元神廟街九十六號（電話八四番）營口ホテル

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

料理　一力　營口永世街　店主　石万助

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東京樓　營口新市場前（電話一八七番、四番）店主　濱田粂次郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三軒

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川猶三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館　高砂ホテル　西北街（電話一四五番）店主　片山小みつ

料理　樂々亭　營口元神廟街　店主　武部貞

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）店主　前田九一郎

料理　萬梅　豊潤門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町三百五十九号　店主　和田常松

和洋料理　公樂園　永世街

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

爲替相場（七月十日）
日本向　百〇一圓七十五錢（電票百圓に付）
上海向　七十一兩二分ノ一（同）
天津向　一百四圓十二錢五厘（百弗に付）
芝罘向　一百〇三圓六十二錢五厘

さるそば　第一更科　さるそば　第二更科　營口元神廟街　永世街?の角

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　店主　住松信太郎

料理　都樓　平野町　店主　阪本ちか

旅館　品川館　營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　瑞豊館　奉天小西關大街北側　館主　河野眞吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　奉天小西關大街南側　[illegible]（電話　號）

旅館料理店　日盛館　奉天城内?市街東華門宮殿東側　館主　入江熊男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　館主　押尾富次郎（電話　號）

御料理　梅ヶ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　奉天小西關大什字街?入（電話　號）

御旅館　瀋陽館　奉天小西關外大街路北

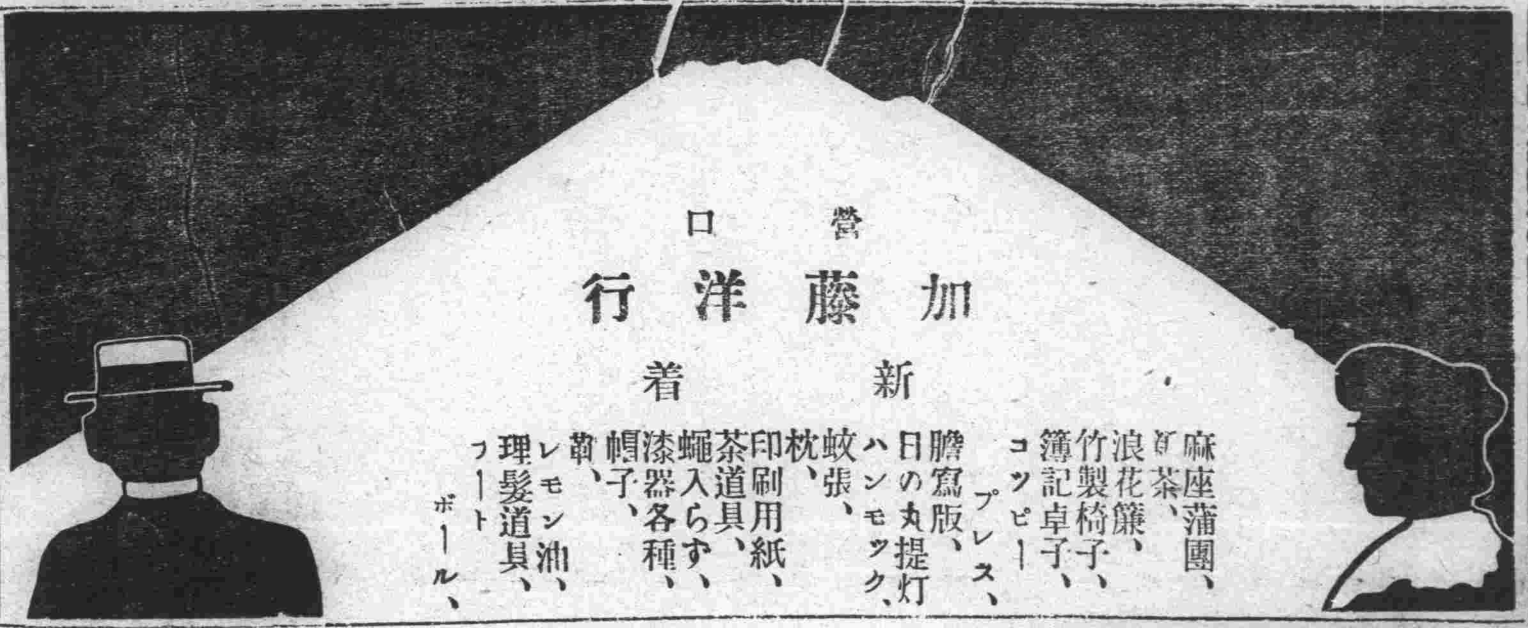
御定宿　第二東京館　奉天小西關第五分局八〇一〇號　館主　松田平四郎

今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を主とし旅館を専業に單ら御客様の御便利を斗り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理　**扶桑館**　奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号　館主　堀田ハル　電話　号

一瀛船貨物運搬業
一浮船及瀬取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第二市場ヶ西へ入る
遼河運輸　**同濟公司**

日本品最近物價表
紙類　加藤洋行
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　仝　七圓五十錢
一仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢
一巻紙　一?　一圓七十錢



◎煉瓦販賣
上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町　**高坂洋行煉瓦製造部**（電話九十番）

和洋御料理　高等　**遼東館**　遼陽城内東街一八九號　電話　號
屋敷續し樓上等も暑に取する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上
樓主　川上總吉

御料理旅館　**三河樓支店**
弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に樹壯なる日本風の二楷造家

室内装飾品及寝具　矢野洋行
一仝　二十枚續　三錢二厘以上四錢
一卅袋　百枚　十二錢以上十八錢
一蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン　十帖　七圓五十錢以上三十五圓
一?　五圓五十錢以上十四圓

御旅館　和洋御料理　奉天軍政署指定旅館　**奉天館**　奉天城内鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部　奉天城内大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造　西洋洗濯
靴製造　日本大工
理髮　裁縫
氷御小賣所

一疊　十枚　二圓六十錢以上三圓
一薄縁　一疊敷　八圓
一麻絲通　仝　三圓
一綿絲通　仝　三圓五十錢
一由加多織　一圓七十錢

奉天小西關新來當街々　御料理　本店　**金城館**（電話十九）

御旅館　奉天小西門街大什字街　**金城ホテル**（電話二〇）

御披露
追々暑氣に相向ひ申候就各位倍御清榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ更に江戸牛粹の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方樣には一入の興味を感ぜらる丶ことと奉存候尚樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼旁あつさりと晩餐を召させらる丶にも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

營口永世街　御料理　支店　**金城館**（電話八三）

營口永世街　御旅館　支店　**金城ホテル**

大連市吉野町　御料理　支店　**金城館**

大連市吉野町　御旅館　支店　**金城館**

西洋料理　**満月**　平野町（電一六二）
満月支店　平野町入口　店主　青木勝惠

七月三日より十五日まで
第二回夏もの荷着大賣出し
從來の通りくじ行景品を呈す
永世街　（キ）**木村呉服店**（電話八十八番）

上海　**中井洋行**
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字蓮墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

盛進商行
革麻坐蒲團　旅用衣裝鞄　婦人用洋傘　洋服附屬品　流行靴各種　椅子類各種　卓子簿記臺　油多加織類
品質の精撰と薄利は弊行不動の主意幸御愛顧の榮を給はらむ事を伏て奉希上候

土木建築並ニ測量設計請負
營口青堆子綏定門外　**志岐組**

新着
恵比壽ビール
金升洋行　盛進商行

一週年の祝意　寫眞定價半減
弊館爰に一週年之祝意を表する爲め何か面白き趣向を以て御得意樣の御愛顧に報じ可申と存じ候處時節柄とて差控へ更に突飛り勉强をなし薄利にして勢力を惜まさるの考にて寫眞定價を半減となし艶麗にして巧妙なる寫眞を御寫し申上候間天氣の晴雨に不拘續々御來寫なし被下度候
七月五日より八月五日迄
二に兼て此の技に敏腕にして熟練なる村田寫眞師を招聘なし器械の豊富は申二不及館主一同協力奮斯なる支術を奮て御寫し申上候
木村寫眞館

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy　80 cts. per month.　$2.30 per 3 months.　$4.80 per 6 months.

本紙定價
一枚二付　銀四仙
一ヶ月前金　票八十仙
半ヶ年前金　四弗八十仙
一ヶ年前金　銀九弗六十仙
廣告料　二十一字詰一行一回　銀二十仙